グリア博士のブログ Dr. Greer's Blog

<http://drgreersblog.disclosureproject.org/>

(訳： 廣瀬 保雄)

Major New Disclosure Initiative Launched!

公開に向けた重要な行動を新たに開始！

2012年5月1日発表 | グリア博士

私たちは UFO 情報の公開に向けた重要な行動を新たに開始しました： エミー賞受賞監督のアマーディーブ・カレカと協力して制作する、歴史を変えるドキュメンタリー映画です。下記のサイトをご覧ください。

www.Sirius.neverendinglight.com

Why The Sirius.Neverendinglight.com Film Matters

なぜドキュメンタリー映画シリウスが重要なのか

2012年5月5日発表 | グリア博士

今度の UFO 映画にはどのような重要性があるのですか？ このような質問を受けました。

そうですね、多くの意味があります。

これは“決して語られることのない最重要事項”なのです。たとえ半数を超える人々が UFO は実在すると考えても、それを秘密にする動機が邪悪で墮落をもたらすマクロ経済の支配力維持にあることを知る人はほとんどいません。それは悪意を持って UFO のエネルギーおよび推進システムの背後にある科学を抑圧しています。

かつてのエネルギー省職員が私に語ったことを知る人はごく少数です。彼は、オークリッジ国立研究所の巨大な貯蔵施設に多数の“フリーエネルギー”装置がしまいこまれ、人目につかないように隠されているのを目撃しました。

クリントン政権の一閣僚が自分の子供たちの一人にこう語ったことを知る人はさらに少数です：誰が大統領であろうと重要ではない - 少なくともこのような事柄については。

カーター大統領は、この UFO 問題を扱うことのできる高いレベルの機密取扱許可を持っていなかったと自ら認めました。

また、私が国防総省において直接背景説明を行なった一人の提督は - 私たちが彼に ET および UFO 問題を扱う作戦の最近のコード番号と名前を教えたにもかかわらず - それに接近することをあからさまに拒否されました。彼はそのことに動揺し、脅えていました。この提督は J-2、すなわち統合参謀本部情報局長の立場にあった人物なのです。

さらに、世界は 1800 年代後半頃のエネルギーおよび物理学のパラダイムの中で止まっており、そのことが私たちをこのかけがえのない惑星の破壊へと追いやっています。

この映画は、世界中の人々の行動を喚起し、“地球の春”を引き起こし、これを最後に秘密を終わらせ、地球の人々に長い間公表されなかった技術を持て公の場に引き出す力を持っています。

その次にはコンタクトの問題があります：私たちは他文明とのコンタクトというこの重大な任務を、地球の破壊へと突き進む軍事化された泥棒政治に譲り渡す勇気を持っていますか？ 合衆国大統領も世界の当局者たちも、この責任を放棄しています（または、ケネディ大統領が言ったように、彼らの手から取り上げられてしまった...）。ですから、今や行動

を起こすのは“我ら人民”なのです。

公開は私たちにかかっています。コンタクト： 私たちがそれを実現しなければなりません。ほぼ一世紀もの間冷酷に抑圧されてきた革新的な技術を公の場に引き出す - 私たちにはそれができます。

合衆国政府, 大統領, 国会議員, 他国の権力者, 国連, 大企業, 有名な富裕エリートなど, これらの誰かが公開を実現するだろうなどとは, どうか考えないでください。

しかし, 私たちにはそれができます。

この映画は何百万人もの人々を行動に駆り立てるでしょう。そして行動は直ちに起きます。映画が成功すると私たちには資金が入ります。これを使って私たちは自前のハイテク研究所を建設し, “秘密保持命令” により押収された 5,000 を超える発明の一部を世に出します (オリオン・プロジェクトのウェブサイト <http://www.TheOrionProject.org> を見てください)。その結果, 私たちは地球上に新しい文明を持つこととなります - 少なくとも, 50 年以上前に完成された技術群により支えられる文明です。

発明家が独力でこれを行なうことはできません。権力者やエリートはやろうとしません。

ですから, 私たちがやらなければならないのです。

どうか, あなたのできる方法で私たちを支援してください。

Urgent Call for New Witnesses, Whistleblowers and Evidence!

新たな証人，内部告発者，証拠の緊急要請！

2012年5月8日発表 | グリア博士

公開に向けた次の重要なステップに寄せられた，世界中からの素晴らしい反応のおかげで，私たちは最初の 10 日間に，歴史的ドキュメンタリー映画“シリウス”制作のために，11万2千ドルを超える寄付をいただきました！

900 人を超える人々が Sirius.Neverendinglight.com および Kickstarter.com を訪れ，支援を約束しました。私は個人として，皆様の一人ひとりに感謝を申し上げたいと思います。

昨日は，匿名で 2 万 5 千ドルの小切手が届きました。この送り主の寛大さと公開への貢献に，私たち全員が感銘を受け，鼓舞されました。私たちは，多大なご支援を賜ったこの方 - お名前は存じませんが - に，深く感謝の意を表します！

この溢れるほどの支援を考慮し，エミー賞受賞監督の A・カレカと私は，予定を早めて映画を制作する決意をしました。

これは，公開プロジェクトのすべての支持者と連絡網に対して発する緊急要請です。私たちは，UFO 事件やプロジェクトを証言，告発する新たな政府／企業の証人および内部告発者を求めます。私たちが特に求めているのは，UFO 事件，プロジェクト，文書等を直接目撃し，この映画のために進んでインタビューを受ける信頼できる証人です。その出来事が起きたことを裏付ける軍，政府，または企業の証人，文書，または直接の証拠があれば，さらに有利です。

私たちはまた，偽の ET 事件を故意につくりあげる政府または軍（または準軍事的組織）の作戦を証言する，さらに多くの証人を求めています。偽の ET 事件には誘拐，動物切断，ET に見えるが ET ではないロボット生物，移植物（インプラント），宇宙に敵をつくり出すための関連する心理戦的事件またはプロジェクトなどが含まれます。

私たちはまた，新エネルギーの抑圧を証言する政府または企業の証人を探しています。これには先進的エネルギーおよび推進の装置または発明の抑圧，不法な押収，秘匿，ならびにこの抑圧の犠牲となった一般市民のことが含まれます。

上記に加えて，私たちは下記のものを含む，UFO 事件に関係する説得力のある新たな証拠を求めています：

- ◆ 所有者と履歴の明らかな，鮮明かつ決定的な写真およびビデオ

◆ 政府や企業の文書 - 機密が解除されているか否かは問いません。すべての UFO 関連プロジェクトは違法であり、それゆえにその機密性を正当化するような国家安全保障法も存在しません。

◆ レーダーテープ, その他の物理的証拠となる何らかの物質 (ET 宇宙機の部品, 材料等)

もし、皆様またはお知り合いの中にこのような証拠をお持ちか、証人になれる方がおられましたら、このアドレスに直接ご連絡ください： Witnesses@DisclosureProject.org

私は 2012 年 5 月 21 日の週に南カリフォルニアを訪れ、この地区にいる新たな極秘証人たちを撮影する予定です。もしこの地区在住で証人になれる方がおられましたら、至急私たちにご連絡ください。

公開、新エネルギー、コンタクトの実現に向けた、皆様の献身的なご支援に感謝します。今年こそは、地球上に新しい文明が始まらなければなりません。

スティーブン・M・グリア 医師

Invasion of the MOTUs! (Or the 0.0000001%)

モツ (=世界の主人たち) の侵略! (200-300 人による地球支配)

2012 年 5 月 16 日発表 | グリア博士

ハリウッドも大衆文化も“エイリアンの侵略”に夢中である。しかし、なぜ彼らはわざわざ侵略などするのだろうか？

宇宙には生命、水、鉱物を持つ数十億の惑星がある。数十億の人間がひしめき、それらがイデオロギーのことで争い、数千発の熱核兵器で武装している - こんな惑星をなぜ侵略するのか？！

実際には、ET 文明は我々地球人の敵対行為とそれが宇宙への脅威となる可能性を懸念しているのである - その逆ではない。

地球人が数億の同胞を殺戮してきた実証済みの歴史がある - そして今や極秘計画は、核兵器のみならず、光よりも速く進むいわゆるスカラー兵器または縦波電磁気兵器を保有している。これらの兵器は、ET 宇宙機を追跡し標的にするために使用されているのである。

本当の権力（議会やホワイトハウスにあるそれではない）を持つ隠れた世界は、モツ=世界の主人たち (Masters of the Universe - MOTUs) の領域である - 彼らは何よりも絶対権力を渴望している。

金 (money) はその権力を誇示するためのシンボルであり、手段にすぎない。

そしてヘンリー・キッシンジャーが言ったように - 彼はおそらく知っていただろうが - 権力は究極の媚薬なのである。

上位 1 パーセントについて語られることは多い。結構なことだ。しかし本当の問題は 1 千万分の 1、すなわち今や全世界の純資産の半分以上を支配している 200-300 人とその家族、および彼らの企業にある。

この軍事/産業/研究所/企業/金融/エネルギーの複合体は、ワシントン DC および他のあらゆる国家中枢を牛耳っている - だから、政治家たちがその飼い主の手を噛むことはありそうにない。

UFO の秘密と公安国家 (National Security State) が強く結びついている理由は、これらのモツが UFO の実在性を認めてしまうと、先進的エネルギー、推進、物理学というパンドラの箱を必ず開けることになるからである。このパンドラの箱が開くと、大手石油会社、巨大石炭関連産業、原子力発電は完全に時代遅れとなる。UFO とは、新物理学 (New Physics)

の曖昧な言い換えにすぎない。UFO は未確認でもなく、従来の空気力学的方法で“飛行”しているのではない - しかし、まぎれもない物体である。一部の UFO 目撃は ET 宇宙機を見たものである。しかし多くの場合 - おそらく大部分は - 1940 年代から開発されている、地球製の反重力装置である。

ここに 500 兆ドルのジレンマが存在する：もしモツとメディアにいるモツの追従者たちが、この新物理学のことを大衆に知られてしまうと、人々はマクロ経済の奴隷状態からの解放を要求するだろう。その結果、これらのモツが持っている相対的支配力および権力は、まさしく人々へと分散することになる！

インド、ラテンアメリカ、アジアのあらゆる集落が、エネルギー装置を持つことを想像してほしい。その装置は、ゼロポイント・エネルギー場、量子真空、またはディラックの海 - それを何と呼んでもよいが - からエネルギーを引き出すことを可能にするのである。世界中が発展するだろう - それも有機的に、汚染も貧困も伴わずに - また集権的に管理されるオイルマネーシステムも、大手石油企業も、集中的設備もなしに - なによりも、モツのいない世界である！

だから、世界は“エイリアン”によって侵略され、消耗させられているのではない。それをしているのは、これら人間嫌いの性癖を持ち、社会病質者であるモツなのである。

数年前、私がライト-パターソン空軍基地の高官に話したように、“もしも” ET たちが地球を手に入れたかったならば、それは我々が最初の原子爆弾を爆発させた 1945 年頃に完了していただろう。光よりも速く移動できるなら、宇宙の片隅にある我々の小さな場所を占領するのは容易なことだ。しかし、ET はそうすることに興味もなく、意図も持たず、その必要もない。そんなことはまったく馬鹿げている。彼らが我々から必要とするのは、我々の平和と協調のみである。

だから、ET たちについて心配しないでほしい：ハリウッド、CIA、ロッキード・マーチンは、人々に ET を恐れてほしいかもしれない。彼らは間もなく、我々は ET たちを恐れるべきだと“証明”するために、偽旗作戦を始めることさえするかもしれない。しかし実際には、世界を侵略し、ワシントンに墮落させ、UFO の秘密を冷酷にも強行し、これらの地球を救う新エネルギーおよび推進の技術を隠しているのは、モツ=世界の主人たちなのである。

我々すべてが力を合わせ、真実を公開し、これらの新しい科学を公の場に引き出すことにより、我々は地球上に新しい文明をつくり出すことができる。モツは、騙し、墮落、冷酷非道、そして大衆の無関心と荷担のみによって支配する。しかし、我々がひとたび地球規模で覚醒すると、そのときは本当に新時代が来る。

News Update

最新情報

2012年5月24日発表 | サイト管理者

ワールド・プジャ・ラジオ番組 - スティーブン・グリア博士と語る -
2012年5月25日

スティーブン・グリア博士はリン・キタイ博士と語り合います。この著名な二人の医師は、自ら医師としての職業を捨て、地球を訪れている地球外文明の主題に公然と取り組んでいます。彼らは何を知り、なぜ医師の仕事を捨ててまでこの分野に足を踏み入れなければならなかったのか。素晴らしい語らいをお楽しみください。キタイ博士は、フェニックス・ライツ事件 (The Phoenix Lights) の詳細な研究で知られています。

<http://www.worldpuja.org/conversations.php>

Great Visit to LA!

大成功だったロサンゼルス訪問！

2012年5月30日発表 | グリア博士

ジャン・ブラボ博士と私は、実り多いロサンゼルス訪問から今戻ったばかりです。ロサンゼルスでは、ドキュメンタリー・シリウスの制作に取り組んでいるエミー賞受賞監督のA・カレカおよび彼のチームと共同作業を行ないました。

この歴史に残る映画は、公開 (Disclosure)、新エネルギー (New Energy)、コンタクト (Contact) を人々の意識の最前部に押し出すために、驚くべき証拠、文書、極秘証人の証言、および筋立てをもって、急ピッチで制作が進められています。

私たちはまた、ロサンゼルス地区にいる何人かのプロデューサー、映画産業部内者、および俳優のトーマス・ジェーンと会合を持ち、この映画に最大限の説得力を持たせる最良の方法は何かを話し合いました。

この映画の奥深さと広さを概観するとき、私たちには最初に考えていたよりもさらに多くの利用できる機会があることは明らかです。私たちは、シリウス・プロジェクトを支援する皆様のような人々がいて初めて、こうしたすべての資源を利用し、最高の映画を制作することが可能になります。皆様それぞれが、この映画の共同制作者であり、配給者です。そうでなければなりません - なぜなら、公開から利益を受けるのは全人類だからです。

皆様には引き続き、このシリウス・プロジェクトを広く人々に伝え、先月のように資金調達ペースを加速してくださるようお願いいたします。クラウド・ファンディングによる映画制作で、私たちはその上位 20% にいると聞かされました - その一番になりましょう！

皆様のご支援およびネットワークを使った貢献に対し、心より感謝の意を表します。また映画制作チームの全員を代表し、この溢れるばかりのご支援に感動し、ありがたく思っていると申し上げたいと思います。取り組みを続けましょう！

スティーブン・M・グリア 医師

Trans-Dimensional Interstellar: TDIS - What It Means

恒星間旅行は他次元を経由する：TDIS - その意味

2012年6月4日発表 | グリア博士

そのとおり、進歩した ET 文明が我々を訪問している。この単純な事実は、公開プロジェクト (DisclosureProject.org) により立証されてきた。

ET 来訪の証拠は確かなものだ - しかし、その意味はほとんど理解されていない - 特に科学界では。これらの ET 文明は、固体ロケットやジェット機 - またはエクソンモービルの燃料 - を使って地球に到達するのではない。これら ET 輸送機の通信、エネルギー、推進には他次元物理学 (trans-dimensional physics) (または超次元物理学 = hyper-dimensional physics または次元間物理学 = inter-dimensional physics - これらは同意語である) が使われている。

これは何を意味するか？

それは通信も移動も、線形的な時間/空間ではなく、別次元を経由して行なわれるということである。とは言え、これらの別次元は時間/空間の内部に折り畳まれ、その中に含まれている。それは意識宇宙 (conscious universe)、ホログラフィック宇宙 (holographic universe) である - 恒星間旅行文明は、皆そのことを知っている。当然ながら、それは彼らの現れ方のほぼすべてが我々には魔法のように見えることを意味している！

しかし、ある文明の魔法は別の文明の科学である。200 年前に遡り、トーマス・ジェファソンにスマートフォン、コンピューター - または簡単なフラッシュライトでもよい - を見せることを想像してほしい。間違いなく魔法だ！ もしあなたがマサチューセッツ州セイラムにいるなら、魔女として火あぶりの刑に処せられるだろう。

今日我々が当たり前になっているものごとは、数世代前の我々の先祖でさえおそらく想像することはできまい。

さて、このような科学的進歩の千年先 - もしかすると数百万年先 - の姿を思い描いてほしい。そのような社会のあらゆる現象は、今日の我々の目には魔法、いや奇跡のようにさえ映ることだろう。

しかしその一方で、機密計画の中では、他次元、超高電圧 (VHV) 共鳴システムの研究が長足の進歩を遂げ、実にいわゆる (間違った呼び方であるが) フリーエネルギーおよび反重力を実現するに至っている (オリオン・プロジェクト www.TheOrionProject.org を読みたい)。最近、私はある国防総省の上級科学者と会い、そのようなシステムについて説明を受けた - その科学者は事もなげに、光より速く伝わる通信装置を持っているとも述べ

たのである。人々が普段使っている携帯電話のことではない！

UFOの背後にある物理学を知らないUFOサブカルチャーの多くの人々は、彼らはETではなく、他次元の存在者だと言う。しかしこれは、オレンジは丸いか、“それとも”色がオレンジ色か、と言うようなものである。それは明らかに両方である。彼らはETでもあり、次元間の存在者でもある。

当然のことながら、他の恒星系から地球またはこの太陽系に到達しているどのET文明も、他次元の経由者(Trans-dimensional)でなければならない。ある恒星系から別の恒星系へ、光速度またはそれ以下の速度で到達することはできない。それはあまりにも遅すぎる。だから、我々を訪問している“すべて”のET文明はTDIS、すなわち他次元を経由する恒星間旅行者(Trans-Dimensional Interstellar)である。

これは、J・アレン・ハイネック博士が何年か前に言ったように、ETの輸送機、通信、その他に付随する諸現象が、必然的に“摩訶不思議”現象になることを意味している。

ET通信システムは、光速度を超えた領域で変調する。そのシステムは、我々が思考形態(thought forms)と呼ぶものに接続する - 神秘主義者たちがアストラル界と呼んでいるものだ。彼らのET輸送機は“非物質化”し、再び時間/空間の別の場所に現れることができる。完全に物質化すると、そのエネルギーおよび推進システムは、別のモーター、電子機器、検出システム、さらには人間や動物に不思議な影響を与えることがある。

ET輸送機は、10フィート離れた場所で光速度および線形的な時間/空間の壁を越えることができる。その後には電子放射が残るのみである。あるいはそれは、電子的“アストラル投影” - 言うなれば幻影 - のような、しかしかすかに目には見える現れ方をするかもしれない。その他多数。

しかし、道理の分かる人ならこのようなことを予見できるのではないか？ これは、我々よりも数千年から数百万年進歩し、光よりも速く移動することのできる文明なのである。

良い知らせ：我々はこれらの概念を理解することができる。情報機関、企業、および秘密請負業の情報操作人たちが人々を混乱に陥れているが、それはこの新しい科学が理解不能であることを意味しない。それは理解可能である - そしてこれまでも理解されてきた。ほとんどの人々は、それを知らないだけである - 今なお。ドキュメンタリー・シリウスの目標の一つは、ここで述べたような事柄を明らかにし、一般の人々がそれを本当に理解するようにすることである。

TDIS：それは宇宙とその中の我々の立場についての、まったく新しい理解である。それを受け入れていこうではないか！

Kickstarter.com Campaign Fully Funded!

キックstarter資金調達キャンペーンは目標額を達成！

2012年6月12日発表 | グリア博士

本日、私たちはキックstarterの目標額に到達し、このサイトによる資金全額の調達を成し遂げました！ この取り組みをご支援くださいましたすべての人々に、心より感謝申し上げます - これは皆様の献身的努力の賜です！

私たちは最終目標額の 25 万ドルに近づきつつあります - 現在私たちの資金は約 21 万 5 千ドルです。この歴史に残る映画は制作されます！

皆様の一人ひとりに、またネバーエンディング・ライト・プロダクションのシリアス制作チームに、重ねて謝意を表します！

World Puja Interview

ワールド・プジャのラジオインタビュー

2012年6月19日発表 | サイト管理者

世界各地にある映画シリウスのための証拠 - 2012年6月22日（金曜日）
スティーブン・グリア博士とパオラ・ハリス女史による

パオラ・ハリス (www.PaolaHarris.com) は多年にわたりヨーロッパを拠点とし、最高の UFO 研究者すべてと連絡を取り合うと共に、自らも研究を続けています。ハリス女史とグリア博士の使命は、UFO および ET について、興味はあるが信頼できる研究結果を入手することのできないより多くの人々に、その情報を明らかにすることです。ハリス女史はグリア博士のこの番組に出演し、彼女の研究のこと、およびドキュメンタリー・シリウスのために彼女が提供することのできる証拠の種類について語り合います。

ワールド・プジャの“グリア博士と語る”をお聴きください。

www.worldpuja.org/conversations.php

SIRIUS THE MOVIE IN RACE AGAINST TIMELINE FOR FALSE FLAG “ALIEN INVASION”

映画シリウスの公開を目前に “エイリアンの侵略” か？

2012年7月2日発表 | グリア博士

この数週間、不安を煽る主流メディア（MSM）の報道各社が、“エイリアンの侵略”にどう対処すべきかという、馬鹿げたよそ者嫌いの記事を集めている。

英国では、元国防省職員のニック・ポープが、このことを大々的に発言している - この“戦い”に参加しようとする国はどこであれ、ヒトラーと戦うことを拒んだ者たちと同様の腰抜けだ。Fox ニュースの番組レッド・アイ（Red Eye）は、次の設問で世論調査を集めた：“エイリアンの侵略”にうまく対処できるのは、ロムニーとオバマのどちらか？

この数ヶ月間、排外的なエイリアンの侵略映画やビデオゲームが、数え切れないほど出現した - すべてが、獲物を求めてうろつき回る恐ろしい“エイリアン”から、我々の祖国地球を軍事的に防衛する、人類の団結を隠れた主題にしている。

私は1990年代の初期から、このシナリオについて警告してきた：軍事主義者たちと秘密の諸計画が、軍事／産業／金融の寡頭権力を一層強固にするため、いつかの時点でエイリアンの侵略カードを使うだろう。他ならぬウェルナー・フォン・ブラウンが、次のように警告したのだ - 冷戦が終わり、世界的規模のテロリズムが終わると - エイリアンの侵略という大嘘が、人々に押しつけられるだろう。

我々は、この狂気の最後のカウントダウンにいるようだ。

1980年代の後半より、このようなシナリオ情報 - また誘拐、動物切断、およびその類の嘘をでっち上げる、闇の準軍事的グループを立証する情報 - を携えて現れるどの研究者も、メディアにより、また皮肉なことにUFOサブカルチャーにより、ブラックリストに載せられている。その理由が、まさに上で述べたことである。

しかし、わずかな事実を考えてみればよい：前世紀に人類は、組織的戦争行為により少なくとも1億5千万、おそらくは2億人を超える同胞を殺戮した。これは、どこか他の惑星の全人口にも匹敵する。そしてこの数には、戦争以外の殺人は含まれていないのである。

人類は大量破壊兵器（WMD）を所持しており、それはたった一度の撃ち合いで、地球上の全生命を滅ぼすことができる。この兵器群のために、数十年間に数兆ドルが使われてきた。一方では、数十億の人々が飢え、教育も受けられず、予防可能な病気で命を落としている。

これらの事実にもかかわらず、主流メディアは今我々の目を、この仮想的な“エイリアンの脅威”に向けさせたいと思っている。なぜか？ 我々の目を、間近に迫った本当の課題からそらすためか？ 秘密の公開 (disclosure), 新エネルギー (new energy), 平和的なコンタクト (peaceful contact) - 我々の注意が向けられなければならないものはこれであり、エイリアンの侵略という空想ではない。

ET たちは、核の時代が始まってから顕著に姿を現すようになった。これは証明することができる (公開プロジェクト www.DisclosureProject.org を見よ)。また、何らかの形のコンタクトも、人類史の黎明期から存在してきた可能性が高い。

もし ET たちがそれほど恐ろしく、敵意を持つものならば、なぜ彼らは地球が数万発もの核兵器で武装した陣地になるまで、地球の強奪を待とうと思ったのか？

それはまったく馬鹿げている - 道理の分かる人なら、誰でも知っていることだ。

さらに、恒星間他次元旅行 (trans-dimensional interstellar travel) を可能にする技術的能力を考えると、“もし” これらの ET たち - どの種族であれ - がそれほどに侵略しなかったならば、地球は何十年も前に征服されるか、破壊されていただろう。

さらに付け加えると、闇の軍事プロジェクトが ET 宇宙機を追跡し、標的にし、時々ではあるが破壊してきたという、多くの証拠がある。この事実を考えるならば、侵略者とされているこれら ET たちによる、大規模かつ圧倒的な報復がこれまでになかったのは、なぜか？

この主題を事実とするサイエンス・フィクションの陳腐な考えとは違い、他次元技術を兵器に用いるどのような戦争も、当事者のすべてを蒸発させ、別次元に飛ばすまでに、約十億分の 1 秒しかかからないだろう。もし、核兵器の行きつく先が地球規模の相互確証破壊 (MAD) だとするなら、恒星間他次元兵器の使用がもたらす結末は、さらにどれほどのものになるのか。

排外主義者たちは、どういうわけか、こう言う：地球上には鉱物、生命体、生体材料が豊富にあるため、これらの侵略者たちはその誘惑に打ち勝てないのだと。本当か？ 宇宙には、地球に似ていて、まだそれほど発達もせず、暴力的文明も持たない世界が、無数に散らばっているのである。人々の間違いは、宇宙の中の我々の小さな場所だけが、このように豊かな生物や鉱物資源を持っていると思い込んでいることである。

要するに、諸事実をどのように公平に分析してみても、このような宇宙に向けた武力誇示の理由は、一つしかない：人々を怖がらせ、萎縮させ、服従させる；世界を平和的に統合するのではなく、地球規模の軍事主義という、不安から生まれた恐怖の新世界秩序 (new world order) で統一する。その願いは、いま一度繰り返すと、人々が身の安全を買うために、自由を放棄することである。

我々が再び騙されることのないよう、願うばかりである。

以上の理由により、我々は映画シリウスの制作と公開を急ぐ必要がある。どうか、シリウス・プロジェクト (Sirius.Neverendinglight.com) をご支援いただきたい。

False Flag Events and their danger

偽旗事件とその危険性

2012年7月25日発表 | サイト管理者

ワールド・プジャ・ラジオ番組 - 2012年7月27日（金） -
太平洋時間 午前11時および午後6時 / 東部時間 午後2時および午後9時

スティーブン・グリア博士とテッド・ローダー博士は、地球外文明を悪魔化するために捏造される偽のET事件、すなわち偽旗事件（false flag events）について議論します。大衆に与えてきた何十もの恐ろしい“エイリアンの侵略”映画を前準備とし、次に彼らが着手する行動計画は何か？

共通の“エイリアンの脅威”と戦うために結束する人類について述べたレーガン元大統領の発言は、人類を守るのではなく、実際には巨額の金（money）をより一層軍産複合体に流入させるものです。

大衆は今何を見せられ、また、なぜそれがそれほどに危険であるのか、この問題をグリア博士とローダー博士が掘り下げます。危険なものの正体に気付かないことが脅威なのです。是非お聴きください。

www.worldpuja.org/conversations.php

“SIRIUS” THE MOVIE POISED TO MAKE CROWD FUNDING HISTORY!

映画 “シリウス” はクラウド・ファンディングの歴史に残るか！

2012年7月28日発表 | グリア博士

シリウス・プロジェクト (Sirius.Neverendinglight.com) で私たちが支持して下さったすべての皆様に、深く感謝の意を表します！

世界中のあらゆる場所から寄せられた、信じられないほど寛大なご支援のおかげで、A・カレカの映画制作会社は、特集ドキュメンタリー “シリウス” を完成させるために必要な資金を全額調達することが可能になりました！

放送品質の重要ドキュメンタリー映画を制作するために彼らが必要とした最低額は25万ドルでしたが、皆様すべてのおかげで、私たちは今やその目標額に到達しました！

もちろん、この最低額はあくまで最低額です。皆様からより一層のネットワーク支援が得られるなら、私たちはもっと素晴らしい、より広範囲かつ影響力のある映画を制作することができます。どうか皆様には、この歴史に残るマルチメディアプロジェクトを、皆様のできる方法でご支援して下さるよう、お願いします。

資金がさらに増額されると、私たちは適切な広報活動を行ない、より多くの人々にこの映画を知らせることができます。また、新証拠および ET/UFO 事件についてより広範囲の調査を行ない、インターネットその他を含むマルチメディア展開も可能になります。この映画を、クラウド・ファンディング映画制作の歴史における一番にしましょう！

ニュース速報： 緊急

私たちは、回収された EBE (Extraterrestrial Biological Entity; 地球外生物学的実体) とされる遺体の科学的な検査結果を、映画 “シリウス” の中に入れることができるかもしれません。この EBE はある協力的な研究機関が所有していますが、彼らはこの ET とされる遺体のさらに詳細な科学的評価を望んでいます。現時点でこの遺体がどこにあるのか、またその所有者 (達) が誰であるのかは、明らかにできません。

ジャン・ブラボ博士 - STAR 理事であり救急医学フェロー - と私は、この EBE を所有しているグループを実際に訪ね、専門的立場から直接その遺体を調べました。それは確かに実際の遺体で、樹脂でも人工的物体でもありません。遺体は一つの頭部、2本の腕、2本の脚を持ち、人間の形をしています。私たちはその遺体のエックス線写真を見て調べました。その生体構造はホモ・サピエンス (現生人類) とも、知られているどのヒト科の動物 (原人) とも異なります。

お分かりのように、この衝撃的で世界を変える力を秘めた証拠のさらに詳細な検査を取り巻く問題は、機密保全および科学の観点から、途方もないものです。ですが、私たちはとにかく迅速に、しかし注意深く前進しなければならないと感じています。適切な MRI 検査、確実な手掛かりをもたらす十分な法医学レベルの DNA 検査、および他の同位体検査を伴った炭素年代測定に要するコストはかなりの額であり、もちろん今のところその資金はありません。私たちは、その遺体がヒト科の別の動物、異様な遺伝子欠陥、等々である可能性を排除しなければなりません。しかしそれは間違いなく実際の生物標本であり - そしておそらくは、外見どおりのものかもしれません。

もしシリウス・キャンペーンに皆様からのさらに強力なご支援が得られるなら、たとえ困難であろうとも、私たちはこの科学的調査を実行するつもりです。現在私たちは、これらのコストがどれほどになるのか調べていますが、数万ドル、もしかするとそれ以上になるのは確実です。

ブラボ博士、私 (グリア博士)、ニューハンプシャー大学名誉教授のテッド・ローダー博士、それに匿名を望む他の複数の科学者が調査および検査を実施し、適切な DNA 評価には一流の DNA 鑑定機関が関与します。

この慎重に扱われるべき問題を私がこの時点で述べるただ一つの理由は、2012 年 12 月に完成を予定している“シリウス”の中で、この ET と思われる遺体を適切に評価し公開するためには、私たちは‘即刻’行動しなければならないからです。“シリウス”のための追加資金およびこの科学的調査の実行資金を賄うために、私たちは皆様のご支援を必要とします。また、私たちは安全と安心を買うことができませんが、私たちのしていることを知る数百万人の人々ならそれを買うことができます。闇の機密プロジェクトは、私たちが前進しないことを欲しています。ちょうど 2001 年に、私たちが公開プロジェクトを前進させないことを欲したようにです。しかし、私たちは実行しました。その結果私たちは、今日に至るもこうして語り続けています。それは数百万人の人々が、あの歴史的イベントが開催される前に私たちのしていることを知っていたからです。

一般の皆様が私たちの盾です。神意と共に皆様が私たちの庇護者です。検査は結果が判明するまで秘密裏かつ離散的に行なわれることになりませんが、私たちがこの証拠を追求している事実は、数百万人の人々に知られていなければなりません。それは私たちが保護されるために必要です。知人の方々に知らせてください - 今すぐに。

最悪のシナリオは、この遺体が ET ではなかった場合です。しかし、もしそれが ET であったなら： ああ、なんということだ！

できましたら、私たちをご支援ください。

Sirius Filmmaker Arm Kaleka's Father Killed at Sikh Temple

“シリウス” 監督アーム・カレカの御父君がシーク寺院での銃撃で死亡

2012年8月6日発表 | グリア博士

アーム・カレカの御父君が、ウィスコンシン州のシーク寺院で起きた銃撃事件により死亡しました。悲しみに暮れるアーム・カレカとそこご家族に、皆様の思いと祈りをささげていただきますよう、お願いいたします。

私たちはこの無分別な暴力に衝撃を受け、ただ愕然としております。

アームとそこご家族、愛する人を亡くされた方々すべてに、心よりお悔やみ申し上げます。

アームの御父君、ともに亡くなられた方々は、永遠の安らぎの中で、光と真実の世界へと旅立たれました。

スティーブン・M・グリア 医師

Sirius Movie Moves Forward!

映画 “シリウス” の制作が進んでいます！

2012年8月21日発表 | グリア博士

アーム・カレカの御父君がシーク寺院で非業の死を遂げられたため、多くの人々から映画 “シリウス” について質問が寄せられています。私たち全員が皆様に知っていただきたいのは、今月の映画制作は多忙なスケジュールどおりに進んでいるということです。私たちは今しがた、カリフォルニア州のシャスタ山から戻りました。そこでは多くのコンタクト映像が撮られました。

来週は、私たちの主要メンバーのチームがこのバージニア州で、また新たなディスクロージャー証人たちがワシントン DC および周辺地域で撮影されることになっています。

私たちは9月16日にロサンゼルスを訪れ、ブロードステージ劇場において発表を行ないます。私の発表は公開 (Disclosure)、コンタクト (Contact)、新エネルギー (New Energy) についての包括的な内容であり、映画 “シリウス” の全体を貫くテーマを紹介するものとなります。発表の様子は撮影されます。皆様お誘い合わせの上是非ご来場ください！

現在私たちは、EBE (Extraterrestrial Biological Entity; 地球外生物学的実体) と思われる遺体の保管場所を訪れることを計画中です。

スティーブン・グリア博士

Neil Armstrong's UFO Secret

秘密にされたニール・アームストロングの UFO 遭遇

2012 年 8 月 27 日発表 | グリア博士

今週末、月面を最初に歩いた男ニール・アームストロングが、82 年の生涯を閉じた。

多くの人々は、あの 1969 年の月面着陸で本当は何が起きたのか、アームストロングはその秘密を抱えていたのではないかと問い続けてきた。答はイエスでもあり - ノーでもある。

長年の間に、私は何人かの宇宙飛行士たち、彼らのきわめて近い家族や友人たちと知り合いになった。思い出されるかもしれないが、私の叔父は 1969 年 7 月に月面着陸した月着陸船の製造企業、グラマン社（現在はノースロップ・グラマン社）の上級プロジェクト技術者だった。

あの歴史に残る出来事の真実は、これまで一度も語られたことがない。我々は確かに月に行った - しかし、そこで起きた諸事実は秘密にされ、今日に至るも公式には秘密のままである。

人類の月面着陸までには、ルナー・オービター（月探査機）が月面地図を作成し、月面上にある古代および最近の構造物を撮影していた。このことは、公開プロジェクト（ディスクロージャー・プロジェクト）の複数の証人により確認されている。だから、我々が月面着陸を成し遂げた時までには、軍と情報機関 - そして NASA 職員のうち一部の区画化された少数部分 - は、そこで何かとつもなく異常なものと遭遇するかもしれないことを知っていた。

この起こり得る事態に備えるため、月着陸船からの信号は国家安全保障局（NSA）その他の回線を経由し、遅延され、実際に何か異常なことが起きた場合にすり替える、別の映像が用意された。

そして、それは実際に起きたのである。ニール・アームストロングとバズ・オルドリンの両方の親しい友人、きわめて近い家族の人々は、独立して次のことを私に語った：月着陸船が着陸したクレーターの周囲を、実際に多数の巨大 UFO 群が取り囲んでおり、それをアームストロングもオルドリンも見た。私は、この出来事の映像を見た軍将校たちとも話をしたことがある - しかし、その映像はこれまで公表されていない。バズ・オルドリンの近い家族の一人は、私にこう語った：“私はこのことで、バズが本当はどうだったのかを言う立場にありません。もしいつかバズがそれについて話すことができれば、彼がそうするでしょう...” ”

ニール・アームストロングは、月面着陸の後、いくぶん世捨て人のようになった。そして、あの歴史的な出来事について話すことはめったになかった。その理由を、アームストロン

グの友人たちと家族が私に語ってくれた。彼はとても誠実な人間だったので、あのような重大な遭遇事件について人々に嘘をつく立場には、どうしてもなりたくなかったのだと。我々の英雄たちがこの受け入れ難い状態に置かれていたとは、なんたる悲劇か！

何年か前に、我々が公開プロジェクトを組織したとき、私はニール・アームストロングの友人の一人にこうお願いしたことがある：我々が1997年4月に準備した議会説明会のためにアームストロングがワシントンに来て、議会メンバーたちに背景説明をしてほしいと。アームストロングはそうしなかったようだ - しかし、私はこうも言われた：もし彼が月面着陸の間に起きた本当のことを話すなら、ニール・アームストロング、彼の妻、彼の子供たちのすべてが殺されるだろう。私ははっきりとそう言われた。

当時私にはこれが信じられなかった。しかし、そのとき以来私が知ったのは、行き過ぎた公安国家によるこのような脅迫といじめは、お決まりの手順だということである。ワシントンDCにある海軍研究所の相当な上級研究者が、最近私と公開プロジェクト・チームにこう語った：もし彼が、知っている情報のいくつかを話すなら、彼、彼の妻、彼の子供たちと孫たちのすべてが殺されるだろう。

これは決して冗談ではなく - 陰謀論でもない。これが、深い闇の底に隠れた公安国家の独裁的首領たちが物事を行なうやり方なのである。これにくらべたら、マフィアなどは聖歌隊の少年のようなものだ。

その一方では、賞賛されるべき勇気ある人々が出現し続けている。彼らは名乗り出、真実を語り、公開を前進させる。世界は人類が孤独でないことを知る権利がある。そして大地の彼方の宇宙には知的生命体がいること、我々には緊急に公開する必要のある夢のような新しい科学と技術があることも。この知識により、人類はこの地球上に、貧困も汚染もない - またすべての人々に正義が保証される - 新しい文明を持つことになる。

まもなく公開される映画シリウスは、この目的と理念を前進させるだろう - またそうでなければならぬ。どうかこの取り組みに力を貸してほしい - Sirius.Neverendinglight.com を訪れ、秘密の公開 (Disclosure)、平和的なコンタクト (Peaceful Contact)、新エネルギー (New Energy) を支持する数千人の人々に合流していただきたい。

Amazing New Results From Possible ET Body

ETと思われる遺体から驚くべき新事実が

2012年10月18日発表 | グリア博士

私たちは何週間にもわたる旅行から戻りました。以前このブログで取り上げた ETと思われる小さな遺体について、私たちの調査により驚くべき結果が得られました。以下はそのご報告です。

私は、ブラボ博士およびエメリー・スミス氏と共に、ETと思われるこの小さな遺体が保管されている国に赴き、遺体全身についての広範な X 線検査および CT スキャンを首尾よく実施することができました。私たちはまた、無菌の外科的条件のもとで、DNA サンプルを採取することもできました。現在これらの DNA サンプルは、世界屈指の遺伝学者の一人により解析が行なわれています。

X 線検査および CT スキャンの結果は、この遺体が完璧な状態にある、実際の生物学的ヒューマノイド生命体であることを示しています。そのことに疑問の余地はありません。詳細な CT スキャンからは、遺体の驚くべき三次元映像が得られました。私たちはそこに肺などの臓器を見ることができましたし、心臓の構造に違いないと私には思えるものも見る事ができました。

これらの映像は、骨格異形成および胎児骨格症候群に関する世界の第一人者により吟味がなされたところです。その所見によれば、この遺体はこれまで知られているどのような人間の骨格構造とも異なります。それは、古代のヒト科動物ではありません。また、ヒューマノイドではあるが、一見したところ人間でもありません。

この骨格異形成の専門家も、X 線検査および CT スキャンのすべてを実行した画像センター長の放射線科医も、その骨密度から遺体は 20 ないし 22 週目で中絶された人間の胎児ではないと述べています。この遺体の骨には、その年齢の胎児にしては多すぎるカルシウムが含まれているのです。両専門家の考えでは、この生命体は出生後に死亡しました（すなわち、子宮の外で一定期間生存しました。もし実際に子宮が必要だったとすればですが...）

DNA 解析の手順は複雑で、時間を要します。この解析には、まさしくこの地球で可能な最高水準の技術が動員されるでしょう。また、その専門家チームは間違いなく、これ以上望めないほどの専門性と高度な技術を有しています。この DNA 解析にはおよそ 2 ヶ月、もしかするとそれ以上を要します。

私たちは、これらの結果の一部と詳細な CT スキャンおよび X 線検査の映像を、映画シリウス (Sirius.Neverendinglight.com をご覧いただきたい) の中に加えたいと思います。

STAR チームは、私たちの調査旅行の映像を A・カレカとネバーエンディング・ライト・チームに提供しました。これは映画シリウスの中で使われます。その映像には、この小さな遺体に対して行なわれた検査および外科的処置、さらに CT スキャンおよび X 線検査が含まれます。

私たちはまた、カリフォルニア州サンタモニカにおいて、シリウス講演会を開催しました。このイベントは大成功をおさめ、会場は満員の聴衆で埋まりました。講演会にご来場の皆様には、このイベントを歴史に残る素晴らしいものにしていただき、心より感謝申し上げます！

私たちは、ネバーエンディング・ライトに数百枚の UFO 写真、ビデオテープ、数十におよぶ最高機密証人による証言および最高機密政府文書、その他映画に必要な諸資料を移送しました。現時点で、20 回シリーズに十分なだけの証拠が手元にあります！私たちの希望では、映画シリウスの完成は 2012 年 12 月です。ですから、11 月 10～17 日にカリフォルニア州の砂漠で行なわれるコンタクト調査に先立ち、私はさらにネバーエンディング・ライトによるインタビューを受けることになっています。

この歴史的映画制作プロジェクト・シリウスを熱烈にご支持くださいました皆様に、感謝を申し上げたいと思います。皆様なしには、何事も実現し得ませんでした！

スティーブン・M・グリア 医師

Senator Goldwater Information

ゴールドウォーター上院議員の情報

2012年12月11日発表 | サイト管理者

ネバーエンディング・ライトに提供された豊富な資料について、もう少しお伝えしたいと思います。ここで取り上げるのは、グリア博士がUFO問題に関して社会のリーダー達に接触した初期の仕事です。

2012年3月に、バリー・ゴールドウォーター上院議員のUFOに関する書簡の一部が公開され、多くの関心を集めました。公開された書簡の中に、グリア博士からバリー・ゴールドウォーター上院議員に宛てた1994年1月11日付の書簡があります。書簡の内容は、ロサンゼルスで行なわれる内々の説明会に、ゴールドウォーター上院議員を招待するものでした。ゴールドウォーター上院議員が仲の良い友人であったカーチス・ルメイ将軍に話をし、ライト-パターソン空軍基地の“ブルールーム”にアクセスしようと試みたことはよく知られています。これはグリア博士が撮影中にネバーエンディングのカメラマンに語ったことです..... カーチス・ルメイはゴールドウォーター上院議員に、そのエリアに立ち入ることはできないと言ったのみならず、もし上院議員が再びその要請を持ち出すなら、上院議員を軍法会議にかけるとまではっきり言いました！

ネバーエンディングには、ゴールドウォーター上院議員からレターヘッド付き便箋でグリア博士に返信された、1994年1月18日付の書簡も提供されています。その中でゴールドウォーター上院議員は、グリア博士が自宅まで訪ねて来てくれたことに感謝を述べています。

ゴールドウォーター上院議員は、ロサンゼルス会合への出席はできないと断り、グリア博士に次のように述べました：“私たち（上院議員夫妻）は二人とも、この会合に参加できないことを残念に思います。あなたが一命を賭して関わっている主題に、私たちも個人的に関心を持っているからです。私でお役に立てそうな事があれば、いつでもご連絡ください”

このことは、公開プロジェクト（ディスクロージャー・プロジェクト）が背景説明をしたり、情報を取得したりするために、どれほど広く深い人脈に接触していたかを暗示するものです。私たちは、ゴールドウォーター上院議員のような器量を持つ人物が関心を示し、情報を携えて応答したという事実を示すことにより、一般の人々が、この主題は最大限の重要性をもって探究されるべきものだ と確信するようになることを望んでいます。これは、UFOの主題が私たちの未来にとり重要であり、それが恐怖の対象にされたり馬鹿にされたりするのは、単に調査される必要のある真実から人々を遠ざけるためになされているのだということを示しています。

私たちがこの情報を広めることができるのも、皆様のご支持ご支援があればこそと、感謝

申し上げる次第です。

Research on the 6" Being and Jonathan Weygandt's Testimony

小さな 6 インチ生命体とジョナサン・ウェイガントの証言

2012 年 12 月 19 日発表 | サイト管理者

私たちはこれまで、あの小さな 6 インチ生命体について、かなり詳しく書いてきました。

私たちは今もその検査結果を待っています。DNA 解析に取りかかっている卓越した科学者からは、逐次進捗状況が知らされており、現在は解析のために研究室の準備を進めています。

グリア博士の考えがどのように展開し、ET 問題についての博士の証拠がなぜそれほどまでに並外れたものであるのか、それを皆様が知っておくことは重要です。この生命体についての取り組みがその一例です。何年か前に、グリア博士はこの小さな生命体を所有している研究機関の人々と会いました。彼らは、この生命体が南米アタカマ砂漠でどのようにして発見されたのか、また発見現場近くの住民たちがこの生命体たちと卵形 ET 宇宙機を目撃したときの様子をどのように語ったのかを、詳しく説明しました。

グリア博士はその情報を、ジョナサン・ウェイガントの証言と結びつけました。ウェイガントは海兵隊員として、卵形 ET 宇宙機が撃墜された現場におり、南米のその地域にいたのです。ウェイガントのインタビュー映像とそれを文字に書き起こした証言の両方が、映画会社に提供されています。ウェイガントの証言はとても興味をそそるものです。というのも、彼は“卵と涙滴の中間のような形”をし、“空気力学的”かつ“実に有機的”と彼自身が形容したこの宇宙機のすぐそばにいたのみならず、この宇宙機の搭乗者たちが彼と意思の交換を試みたと感じたからです。驚くべきことです！ しかもこの証人は海兵隊員なのです！

(ウェイガントの証言は“Disclosure: Military and Government Witnesses Reveal the Greatest Secrets in Modern History”で読むことができます。)

異なる情報源からもたらされた信頼できる証言を結びつけ、ET 地球訪問の真実をより完璧な全体像としてつくり上げる能力は、グリア博士の天賦の才能です。

この複雑につながり合った情報こそ、STAR チームがこの映画で皆様にお伝えしたいことなのです。

Historic Quotes Shared with Filmmakers

映画会社に提供された歴史的に重要な発言の引用

2013年1月9日発表 | サイト管理者

グリア博士は、その著書「公開：軍と政府の証人たちが現代史における最大の秘密を暴露 (Disclosure: Military and Government Witnesses Reveal the Greatest Secrets in Modern History)」の中で、科学界、軍、政界の重要人物たちが地球外生命体の地球訪問という問題をどれほど重大に受け止めていたかを示す、多数の発言を引用しています。これらの引用は、シリウス講演会におけるグリア博士の発表の一部を成し、映画シリウスを貫くテーマになっています。シリウス講演会においてグリア博士は、個々の情報を結びつけ、重要人物たちの発言がどのように他の証拠と相互に関連し合うのかを示しました。

たとえば、以下の引用です：

ジェームズ・E・マクドナルド博士 (James E. McDonald, Ph.D.)

アリゾナ大学大気科学研究所上級物理学者

1968年 米国下院科学・宇宙航行学委員会公聴会における報告

“最も興味をそそる UFO 報告は、低空やしばしば地上で見られた、これまでにない性質と性能を持つ機械のような物体の近接目撃である。一般社会は、信頼できる目撃者から寄せられる多数のこのような報告にまったく気付いていない..... このような事例を調査し始めると、その数はきわめて驚くべきものである”

大統領 ハリー・S・トルーマン (President Harry S. Truman)

1950年4月4日 記者会見において

“もし空飛ぶ円盤が実在するとしても、それは地球上のいかなる勢力が建造したものでもないと私は断言できる”

J・エドガー・フーバー (J. Edgar Hoover)

1947年7月15日 クライド・トルソンへの手紙

“私はそれ (UFO の研究) をしたいと思う。だがそれを承諾する前に、回収された円盤への自由な接近を強く要求しなければならない。たとえばロサンゼルス事件では、陸軍がそれを接收し、我々が簡単な調査をするためにそれを入手することを許さなかった”

数十年間にわたり、科学者たち、さらには政治家たちが、地球外生命体の地球訪問を明確に認めてきました。それが今なお周知のことになっていないのは、なぜでしょうか？ おそらく、CIA メモ (ロバート・ゲーツ - 1991年11月18日) にある以下の文章が、一つの

理由を説明します。

“現在 PAO (the Public Affairs Office ; 広報課) は、国内の主要なあらゆる通信社、新聞社、週刊誌、およびテレビネットワークの記者たちと関係を持っている。このお陰で、我々はいくつかの諜報活動上の失敗談を成功談に変えてきたし、他の数多くの報道においてもその正確性に影響を与えてきた。国家安全保障上の利益を損ねたり、情報源や方法を危険にさらす恐れがある事柄に対して、多くの場合、我々は記者たちを説得し、話を引き延ばしたり、変えたり、差し止めたり、破棄することまでしてきた”

(詳しくは[公開プロジェクト](#)のトップページ最下部 “Media Control document” およびグリア博士の論説 “Media Play (邦訳：メディアの真相)” を読みたい)

証人たちの証言、引用された発言、政府文書を結びつけるグリア博士の洞察力は、この UFO / ET 問題に対する博士の驚くべき知識の基礎になっています。映画シリウスが、それまでこの問題に関心なかった人々にその知識への扉を開くようになることを、私たちは願っています。そして[公開プロジェクト](#)および [CSETI](#) (地球外知性体研究センター) のウェブサイトには、知識を求める人々のために多数の情報、文書、論説が掲載されています。

Great connections made during the Sundance Film Festival

サンダンス映画祭で生まれた素晴らしい繋がり

2013年2月5日発表 | サイト管理者

サンダンス映画祭の開催期間中、パークシティにおいて俳優トーマス・ジェーンがグリア博士と共に登場しました。トーマス・ジェーンは映画シリウスのナレーションを務めています。なんて素敵なチームでしょう！ 紹介、インタビューに始まり、映画シリウスに大きな影響力を与える多くの繋がりが生まれました。これは私たち全員が映画シリウスに望んでいることです。

映画シリウスについて、もう一つのニュースです：すでにお伝えしている世界屈指の遺伝学者が、DNA 解析に着手しました。遺伝学者によると、試験を終え解析を完了するまでに少なくとも3~4週間かかりそうだということです。この遺伝学者はまた、小さな生命体のすべての情報を、遺伝子異常に関する一流専門医の一人にも提供しました。その専門医は、生命体が身長 6 インチの大きさしかないにもかかわらず胎児ではなく、死亡時の年齢は 5~7 歳であったと結論しています！

この調査は皆様の寛大なご寄付により実現しました。皆様には心より感謝申し上げる次第です。私たちは 2013 年春の映画公開を目標にしています。また、ご寄付の受付も継続中であり、この資金は映画を広く社会に普及させる宣伝活動に使われます。

どうか www.SiriusDisclosure.com を訪れ、予告編の下にある寄付窓口をクリックしていただくようお願いします。

Tune in to “Secrecy: How and Why It Is Maintained” with Commander Will Miller

「秘密：なぜ、どのようにして、それは守られるのか」

2013年2月5日発表 | サイト管理者

グリア博士と語る

2013年2月8日（金）

太平洋時間午前11時と午後6時／東部時間午後2時と午後9時

スティーブン・グリア博士とウィル・ミラー米国海軍中佐（退役）

ミラー中佐は、20年以上にわたりグリア博士と共に活動し、国防総省その他における機密会合を調整したり、秘密プロジェクト（USAPs - 認められざる特殊接近プロジェクト）がどのような仕組みでその秘密を守るのかについて情報を提供したりしてきました。ミラー中佐はその機密システムの是非を論じます。お二人の議論は、UFO および新エネルギー技術の情報がどのようにして統制されるのか、その驚くべき実態を示すものとなるでしょう。ここで語られる内容は単なる推測ではなく、内部の事情通からもたらされるものです。二回シリーズの初回はこの問題の深部をえぐります。どうぞお聴き逃しなく。

グリア博士は、このインタビューをこれまでで最重要なものの一つと考えています！ この番組を絶対に聴き逃すべきではありません。

番組へのアクセスはこちらから：<http://www.worldpuja.org/conversations.php>

Press Release: “Sirius” Documentary

報道発表：ドキュメンタリー映画 “シリウス”

2013年3月28日発表 | サイト管理者

論議を呼ぶ UFO ドキュメンタリー映画 “シリウス” 4月24日に劇場初公開

エミー賞受賞監督アマーディープ・カレカによるこの画期的映画は
スティーブン・グリア博士および公開プロジェクトの業績から着想され
俳優トーマス・ジェーンがナレーションを務めます

監督：エミー賞受賞アマーディープ・カレカ（“ネバーエンディング・ライト”）,

プロデューサー：J・D・セラフィン,

ナレーター：俳優トーマス・ジェーン（映画 “Hung”）

による映画 “シリウス” が、ハリウッドでの4月22日の大々的な世界初演に続き、4月24日には限られた国内劇場で公開されます。

この衝撃的ドキュメンタリーでは、UFOの秘密の公開およびクリーンエネルギーの主題が扱われます。“シリウス”はまた、これまでのクラウド・ファンディングによる映画制作の中で最も成功したものの一つでした。この映画では、UFOの秘密を証言する政府および軍の証人たちが登場するほか、UFOとフリーエネルギーの関係が説明されます。また、CE-5（第五種接近遭遇）チームにより目撃されたET諸文明とのコンタクト場面が、素晴らしい映像として提供されます。これほど大量の情報、映像が一般に公開されたことは、これまでにはありませんでした。

“これは決して語られることのなかった空前の物語です” グリア博士はそう述べます。
“UFOの作動原理を機密プロジェクトが解明していることを人々が理解したならば、私たちに
はもはや石油も、石炭も、原子力も不要であることを人々は悟るでしょう。この事実こそが
UFOを秘密にする動機なのです”

トーマス・ジェーンはこう述べます：“ドキュメンタリー・シリウスは説得力のある重要な
映画です。私は皆様がオープンマインドを持ってこの映画を観ることをお勧めします。皆
様は、私もそうですが、政府が国家安全保障の名のもとに秘密を持つことは容認できても、
秘密の政府は認めないでしょう。この映画はそのような人々の心に話しかけます”

カレカ監督は次のように付け加えます：“探求すべき何か深遠なもの - 私たちの心を新しい領域，新しい可能性に向かわせる力を秘めた何か - がここにあるかもしれません。だから私たちはこのプロジェクトに取り組むことにしたのです。私たちが語るどの物語にも，他の数百の物語がありました。この映画を観て観客の皆様が心を開き，探求心を鼓舞され，この世界には私たちが知っている以上のものがあると自由に考えるようになる，そのような旅に皆様をご案内するのが私たちの目標です”

公開プロジェクトについて

公開プロジェクトは UFO，地球外知性体，秘密にされている先進的エネルギーおよび推進システムについての事実を全面公開するために活動する研究プロジェクトです。

公開プロジェクトには，UFO，地球外知性体，地球外技術，およびこの情報を秘密にしている隠蔽工作について，自ら直接目撃または関与した経験を証言する，政府，軍，情報機関の 100 人を超える証人の供述書ファイルがあります。同様の出来事を目撃した証人の数はさらに数百人に上ります。

スティーブン・グリアについて

スティーブン・グリア医師は，公開プロジェクト，地球外知性体研究センター（CSETI），オリオン・プロジェクトの創始者です。

公開運動の創始者としてグリア医師は，2001 年 5 月にナショナル・プレス・クラブにおいて衝撃的な記者会見を主宰しました。そこでは 20 人を超える軍，政府，情報機関，企業の証人たちが，地球を訪れている地球外知性体の存在，これらの宇宙機のエネルギーおよび推進システムの逆行分析（リバース・エンジニアリング）について，説得力のある証言をしました。この記者会見の様子はウェブ放送され，その後 BBC，CNN，CNN ワールドワイド，ボイス・オブ・アメリカ，プラウダ，中国メディア，および中南米諸国のメディア支局により報道され，10 億人を超える人々が視聴しました。ウェブ放送では 25 万人が順番待ちをしました - 当時のナショナル・プレス・クラブの歴史上，最大のウェブ放送でした。

全米で最も権威のある医学協会アルファ・オメガ・アルファの終身会員であるグリア博士は、CSETI、公開プロジェクト、オリオン・プロジェクトに専心するため、現在は救急医の職を辞しています。博士はその経歴の中で、ノースカロライナ州カールドウェル・メモリアル病院の救急医療長を務めました。

グリア博士は、UFO/ETの主題を扱った洞察に富む4冊の本、および多数のDVDの著者です。博士は世界中のグループに、地球外文明と平和的にコンタクトする方法を指導すると共に、真の代替エネルギー源を一般社会に普及させる研究を続けています。博士はサンクリットのヴェーダを広く学び、30年以上にわたりマントラ瞑想を教えています。博士はまた、映画“古代の宇宙人”および“スライブ”にも出演しています。

グリア博士はこれまでCBS、BBC、ディスカバリーチャンネル、ヒストリーチャンネル、その他多くのニュース番組に出演し、世界中の数百万人の人々により視聴されてきました。

本件に関するお問い合わせ : Jim Dobson/Indie PR/818-753-0700/jim@indie-pr.com